5/9　6年生 家庭科「より良い生活をつくろう」× 情報活用能力

📝 今日のめあて
生活を見つめて、「もっとよくしたい！」を見つけよう

「最近、朝の支度がバタバタしてるな…」
「もっとお手伝いできることないかな？」

そんな“日々の小さな困りごと”をスタートに、子どもたちは自分の生活をふり返りながら、
「ここを変えたい！」「こうしたらもっとよくなるかも」と、ひとり一人の課題を見つけていきました。

6年生では、家庭科「より良い生活をつくろう」の単元で、自分自身の生活を見つめ、課題を設定し、改善に向けた計画を立てて実行するという学習に取り組みました。

🪄 実際の様子
1.生活の中の課題発見
→ 子どもたちは自分の生活を振り返り、「もっとこうしたい」「ここを変えたい」と思うことを見つけました。

2.改善計画の立案と実践
→ 実際に行動し、家族からのレビュー（感想・アドバイス）をもらいました。

3.スライドへのまとめと共有
→ メモした内容をもとにGoogleスライドでまとめ、感想や今後に生かしたいことも自分の言葉で記しました。

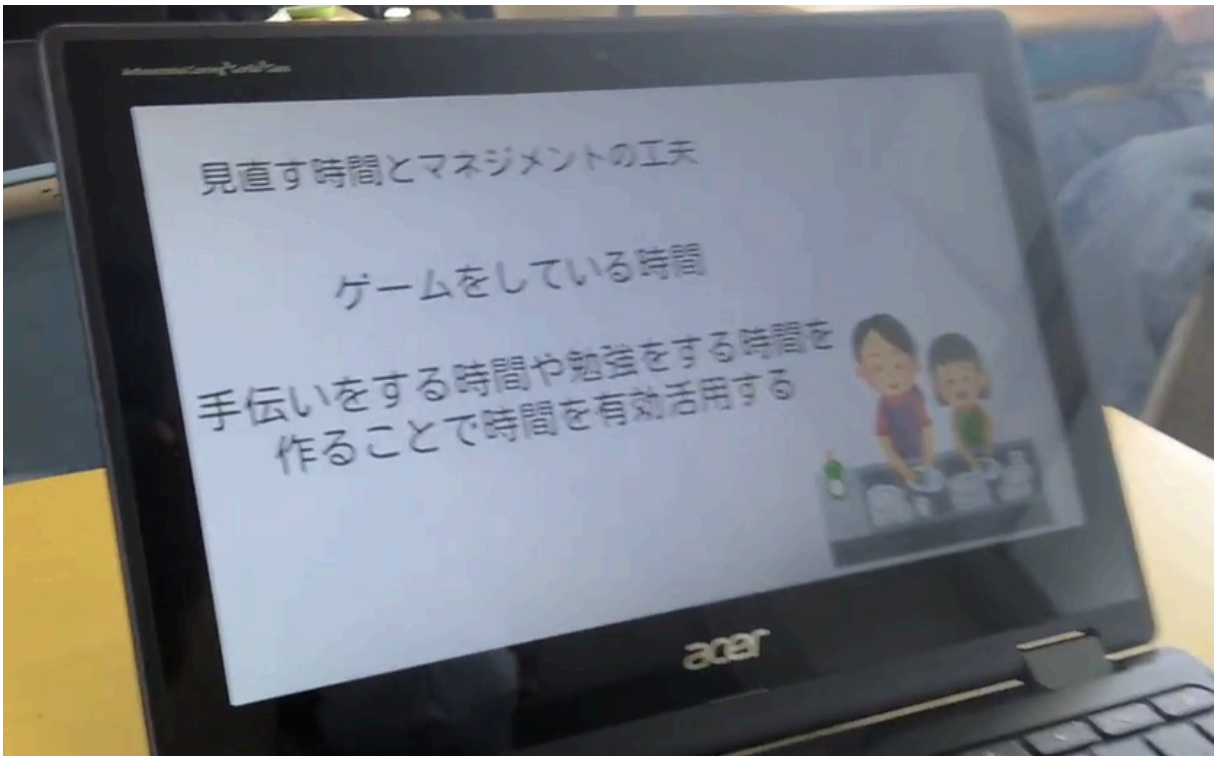
4.**Padlet**でのスライド共有
→ 学級ClassroomにPadletのリンクを貼り、子どもたちは自分のスライドをアップロード。

5.情報モラルを学ぶ機会に
→「友達のスライドが見られない」という声から、アクセス権の考え方や付け方を指導する場面が生まれました。
→「みんなの家の様子を知らない人に勝手に見られたらどう思う？」という問いかけで、情報の公開範囲の重要性を具体的に伝えました。
“アクセス権”って何？ どうやってつけるの？ を学ぶ機会に。

6.実際にアクセス権を付け直し、再共有
→ 友達の作品を見る喜び、自分の作品を見てもらえる喜びを、子どもたちが実感しました。

7.プレゼン発表と動画記録
→ ある児童は、自分のスライドをもとに堂々とプレゼン。撮影した動画には、情報活用能力と家庭科実践を結びつけた「6年生らしい姿」がしっかりと記録されていました。

◆ 参考ポイント
•教科の学習と情報活用能力の統合的な実践

•ICTを通して学級全体がつながり、相互に学び合う環境づくり

子どもたちが自分の生活と真剣に向き合い、その成果をデジタルで表現・共有し、さらに学級内での交流と学び合いへとつなげたこの実践は、「最高学年らしいステキ」がつまった素晴らしい取り組みでした！